佳ちゃんの部屋vol.6
〜盛り上げ上手の金さん〜

佳ちゃんの部屋へようこそ。今回は明るく楽しい会話で場を和ませてくれる金さんです！社長との出会いからKnotへの入社、会社初期のお話などをお聞きしました。記事内に載せきれなかったお話もたくさんある中、抜粋してお届けします！

名前：金 正植
あだ名：とくにない（金ちゃん）
出身地：大阪

出会いときっかけ

——金ちゃんはもともと居酒屋「べるまっしゅ」の店員で、その時に知り合ったんだよね。

社長は常連さんでした。毎日のように来てくれていて。伝票にどんな人が来てくれたか書くところがあるんですけど、お店のママみたいな人はいつも「谷川さん（芸能人）」って書いてました（笑）華やかだから芸能人だと思い込んでたみたいで。でもある日会社をやってるって知ってからは「谷川さん（芸能事務所 社長）」になっていて（笑）その頃、Knotの社員はまだ5人くらいだったかな。

佳さんはよくお店にお客さんを連れて来たりして、めちゃめちゃ楽しそうに仕事の話をしてました。サラリーマンって絶対やりたくないって思ってたけど、それを見てなんか楽しそうだなーって思っていて。それで佳さんに「（会社に）入れてください」って結構まじめなトーンで言ったら「やだ」って！（笑）その代わり「じゃあ自分で会社作って、自分でやってみなよ」って言われて。「そんなことできるんですか？」って言ったら、「できるよ、だってお前これで食えると思ってるんだろ」って言うので「はい！」って答えたら、「会社作る方法、教えてやる」って。それで3年くらい自分の会社やってから、やっとKnotに入りました。

——最初からKnotに入るよりも、多分自分でやってよかったよね。

楽しかったですね、勉強にもなりましたし。今、小野寺君が担当しているサイバーエージェントも、その当時飛び込んだ会社です。「サイバーエージェントに行けば、仕事がもらえるらしい」って聞いて、社会人になったことがなくて名刺の渡し方も知らないから、とりあえず総合受付に行って、受付のお姉さんに「仕事もらいにきました」って言ったんです。銀行のように待ってれば札を渡されて、これ作ってきてくださいって言われると思って（笑）「お約束はありますか？」って聞かれたけど、それを「ご予約ありますか？」と同じことかと思って、「あ、ないです、また予約してから来ますね」って帰りました。でもどこをどう見ても予約方法がわからないからまた受付に通って、結局3回めに行った時に会社の人に繋いでくれたんです。そしたら社員が1人出て来て、話を聞いてくれることになって。その人に「ちょっと外で話しましょう」って言われて一緒にグーセンにいって、クレーンゲームとかやりました（笑）無茶苦茶でしょ。そこから今までずっとお仕事をもらってます。

これまで

——当時は映像とイベントしかやってなかったから、金ちゃんがいなかったらクリエイティブ部はなかったし、今のKnotはないんだよね。思い出の仕事はある？

自分は、当初はイベントやる人が少なかったから、イベントの営業を担当してたんです。大津さんもちょうど入社してきたタイミングだったから、自分がWEBをメインでやるとは思っていなくて。いまだにKnotの思い出の仕事って言われると、海の仕事かな。ハンマーゲームを作ったんだけどそのハンマーが折れちゃって、クライアントに「なんで予備ないの？」って言われちゃって。だってハンマーが折れると思ってないから！って。それから予備が大事だと学んで、その後は毎回10本くらい予備を持っていったり（笑）でもそれ以来一回も折れたことはなかった（笑）

——金ちゃんは社員イベントも楽しみにしてくれてたよね。

今は人数が増えて、もう誰がどう楽しんでるのかも分からないけど、昔の社員旅行とか仕事はもう誰がどこで何やってるかも分かってたので。現場あったら顔を見せに行くし、辛い時にも来てくれるし。海のイベントでハンマーが折れちゃった時も、やることなくてぼーっとしてると社員メンバーが来てくれて、涙出そうになっちゃったりね。仲間の現場に行く大切さとか、来てくれる喜びとかはその時に知りました。

ちなみに・・・

「べるまっしゅ」は高知の郷土料理がコンセプトのお店。渋い栗がとれる高知ならではの栗焼酎があるのだとか。かつて谷川兄弟がその栗焼酎を気に入って飲みすぎて、高知県知事に表彰されそうになったほどのお墨付き。小さい瓶100本を飲み干して特別に手に入れた大瓶が今でも店内に飾ってあるそうです。それはKnotのご神体だそう。社長が"Knotの原点"だと語る「べるまっしゅ」にぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

金さんと社長の出会い、そしてなかなか聞くことのできない当時の会社のお話や、今のKnotが出来上がったルーツなど、とても貴重なお話を語っていただきました！

次はデザイン部の佐藤（純子）さんです！お楽しみに。